

東シナ海ブロック水産業情報

No. 131(2025年10月~12月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>○筑前海 【カキ養殖】 夏季～秋季に福岡湾の一部地域でへい死が6割と平年より高い状況であったが、筑前海の生産の9割を占める糸島地区ではほぼ平年並みのへい死状況。</p> <p>○有明海 ・11月4日の午前5時出港で採苗は開始された。水温は20℃以下まで低下しており、芽付きは良好～厚めで、11月7日に採苗は概ね終了。 ・11月21日に一部で色調低下確認。12月1日には全域で色調低下確認。 ・11月28日から冷凍網の入庫作業が開始され、12月3日で概ね終了。 ・12月5日から初摘採開始。12月中旬以降アカガサレ病重症化。 ・12月11日に、コシノディスカス赤潮の解消を確認。12月中旬以降色調は回復傾向。 ・12月末までの生産は次のとおり。生産枚数1億7,709万枚(過去5年比79%)、生産金額50億8,509万円(過去5年比123%)、平均単価28.72円(過去5年比+10.36円)。</p> <p>○豊前海 【カキ養殖】 ・水温低下にともない、身入りが向上。収穫量は平年並。 【栽培関連】 ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、「網袋」による干潟での保護・育成試験を実施中。</p>	<p>○有明 ・マガキ養殖 夏季の高水温(6月から10月にかけて表層水温が平年よりも高く推移)が原因と思われる成長不良が確認されている。11月14日に実施した生産状況調査では、この時点での推定生産状況は50.3トンとなり、令和6年度の同時期の約21.9トンよりも多い状況であった。</p> <p>・ノリ養殖 今年度の採苗日は11月4日(11月3日17時出港)で行われた。採苗時の水温は、過去最も低い19.3℃となったものの、採苗は例年同様3日でほぼ終了した。育苗期には細胞の萎縮が認められたため、色落ち対策として中西南部地区では11月中旬から、東部地区では11月下旬から施肥が実施された。11月29日から冷凍入庫が始まり、12月4日から秋芽網1回目の摘採が始まった。</p> <p>○玄海 ・稚アカウニ 59万個飼育中</p>		<p>【10月】 フリでノカルジア症、非結核性抗酸菌症が発生。カンパチ、シマアジでレンサ球菌症が発生。マダイ、シマアジでマダイイリドウイルス病が発生。</p> <p>【11月】 フリ、シマアジでマダイイリドウイルス病が発生。カンパチ、ヒラマサでレンサ球菌症が発生。シマアジでレンサ球菌症が発生。</p> <p>【12月】 フリでレンサ球菌症、非結核性抗酸菌症が発生。シマアジでマダイイリドウイルス病、レンサ球菌症が発生。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県